



図1 「癒しのサンマ」

平成20年2月17日(日)、佐野市を会場に開催された「東日本生涯学習まちづくりフォーラム(全国生涯学習市町村協議会主催)」の中で、前年12月佐野市議会で新たに可決された「楽習と参画のまち佐野」都市宣言が全国に向けて発表された。

本文は以下のとおりである。

私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。

私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め、安全で安心なまちをつくります。子育てのなかで親が育ち、こどもが愛されて育つまちをつくります。

私たちは佐野のもつ素晴らしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。

ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。

平成19年12月25日

佐野市

図2(資料1) (本文) 「楽習と参画のまち佐野」都市宣言

平成17年2月28日、旧佐野市・田沼町・葛生町が合併し、新しい佐野市が誕生しました。現在、佐野市では「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」を将来像として、「総合的なまちづくり」に取り組んでいます。

この「楽習と参画のまち佐野」都市宣言は、平成5年10月に旧佐野市で定められた「楽習のまち佐野」都市宣言をさらに発展させ、個人の学びを楽しむ（楽習）ことだけでなく、それをまちづくりに参画することと結びつけ、「楽習」と「参画」が一体的に行われる「生涯学習によるまちづくり」を、佐野市民及び全国に向けて宣言するものです。

## 「楽習と参画のまち佐野」都市宣言

私たち佐野市民は、ひとりひとりが楽習をとおして個人として深まり<sup>(注1-1)</sup><sup>(注2-1)</sup>、その個性を生かし、協働して佐野のまちづくりに参画します。たがいに自分らしさを認めあい、支えあい、はぐくみあう仲間をつくります<sup>(注2-2)</sup>。まちづくりへの参画のなかで、自分らしさを佐野のまちに咲かせます。

私たちはふるさとを守り、はぐくみます。家庭、地域、学校、職場のなかで、世代や価値観の違いを越えた心の交流を広め<sup>(注1-2)</sup><sup>(注2-3)</sup>、安全で安心なまちをつくります<sup>(注1-3)</sup>。子育てのなかで親が育ち、子どもが愛されて育つまちをつくります<sup>(注1-4)</sup><sup>(注2-4)</sup>。

私たちは佐野のもつ素晴らしい自然と文化を学びます。ふるさとの自然を守り、ふるさとから文化を発信します。

ここに佐野市を「生涯学習都市」とすることを宣言します。

### 【宣言文の補足説明】

この宣言文は、市民参画の視点から佐野市生涯学習推進協議会に諮問し、その答申を原案として検討して作成されたものです。この宣言文の趣旨を一層市民の皆様にご理解いただけるよう、協議会の中で論議された内容について、協議会の意向により説明するものです。

この【説明1】には、宣言文の中に盛り込みきれなかった文章を、【説明2】には、宣言文に表しきれなかった内容を掲げました。

### 【説明1】

- 注1-1 仲間とともに、健康を守り、豊かな趣味・教養を味わって自己を高めます。
- 注1-2 産業・観光をいきいきと発展させ、日本や世界に開かれたふるさとを創り出します。
- 注1-3 地球環境を守り、地域に安心と安全を広めます。子どもが地域で楽しく遊び、大人も安心して暮らせる安全なまちをつくります。人間的な食文化、地球に優しい消費生活を学び、家族や仲間といっしょに地域に広めます。世代を越えて育み合い支え合い、信頼関係を深めて、犯罪のないまちをつくります。
- 注1-4 大人が子どもの話によく耳を傾け、愛情をもって接し、家庭や地域で学び合うまちをつくります。子どもが夢を持ち、人生をかけて追い求めるものを、世代を越えて応援するまちをつくります。親も子どもも、ほかの大人たちも、認め合い、支え合うことのできる「心の居場所」を地域に広げます。子育てのなかで親も育ち、市民同士が支え合う子育てのまちをつくります。

### 【説明2】

- 注2-1 しかめ面で学ぶ学習よりも、参画活動のなかでいきいきと学ぶ楽習を大切にしたい。自己を高め、他者と認め合い、つながり、佐野のまちづくりを広げていきたい。まちづくりへの参画のおもとは、ひとりひとりの楽習で形づくられる「個の深み」がある。子どもたちが魅惑になって「基礎・基本」を勉強したり、大人が資格取得などのために必死になって勉強したりする姿を否定するものではない。しかし、それについても、仲間をつくって「楽習」できれば、さらに素晴らしい。
- 注2-2 市民一人一人にとっては、独学や個人学習も大切である。しかし、個人の人生にとってもかけがえのない仲間と出会い、学び、仲間とともに子育てや環境のまちづくりに参画する姿も大切なので、生涯学習の理想像として宣言した。
- 注2-3 佐野を「より開かれたまち」にしたい。「共生のまち佐野」をつくりたい。そのためには、価値観、国籍、民族、宗教などが違っていても共存できること、「持続可能な社会」等の市民にとっての課題を共有できることの両方が必要である。
- 注2-4 「子育てまちづくり」のイメージとして、「子どもの街宣言（旧佐野市）」（平成5年）の以下の文章を大切にしたい。「本当の意味で、子どもを愛するまちをつくらう。本気で子どものことを考える大人のいるまち。毎日、子どものことを話題にするまち。遊んでいる子どもにひと声かけてくれる大人。声かけられたら「はい」と素直にきける子どものいるまち。叱られて、叱られて、ぐっと抱きしめられることが、子どもの真の幸せでことがわかる大人と子どものいるまち。人に親切、人の傷みをわかりあえるまち」。また、「子どもが愛されて育つまち」は、「佐野市子どもの街宣言」（平成19年3月22日）における次の考え方と同じ意味を表すものである。「親が、家庭が、学校が、地域社会が、子どもを大切に育て、見守り続ける子どもの街を宣言します。子どもは、人間として尊重される。子どもは、よい環境で育てられる。子どもは、自由に意見をいい、社会に参加する」。

事務局 佐野市教育委員会生涯学習課  
TEL (0283)86-3495